

す。研修生の研修期間は3年間としている。

この日は関係者ら約40人が出席し神事で工事の安全を祈願した。社長の太田組合長は「酪農振興とともに不足

している担い手の確保に力を入れたい」と話し、浜田正利町長も「研修農場は私の公約の一つ。人を育てる役割を担ってほしい」と期待を込めた。

中札内 初の全道一 十勝が上位独占 2014年度のJ A 当期剰余金 2015年10月6日

道内JA 当期剰余金(純利益)ランキング				
順位	前年	JA名	地区名	金額
1	⑥	中札内村	十勝	7億0142万円
2	①	帯広かわにし	十勝	5億4566万円
3	②	士幌町	十勝	5億2887万円
4	④	きたみらい	オホーツク	5億1565万円
5	⑤	めむろ	十勝	4億7180万円
6	⑦	鹿追町	十勝	3億6990万円
7	-	きたそらち	空知	3億2601万円
8	③	おとふけ	十勝	3億2157万円
9	-	さっぽろ	石狩	3億1862万円
10	⑩	道東あさひ	根室	2億9766万円

2014年度の道内109 J Aの経営状況で、一般企業の純利益に当たる当期剰余金はJ A中札内村が初めて1位になった。十勝管内のJ Aが1位となったのは8年連続となる。

J A道中央会が各J Aの報告を基に、「北海道2015 J A要覧」として経営状況をまとめた。

J A中札内村の当期

剰余金は前年度比58.2%増の7億142万円。枝豆事業の他、ビート、生乳生産が好調だった。

2位は昨年1位だったJ A帯広かわにしで同2.1%減の5億4566万円、3位は同2位だった士幌町で同1%増の5億2887万円と、十勝管内が3位までを独占。十勝はこの他、めむろ、鹿追町、おとふけがトップ10入りした。

経営所得安定対策を含まない生産者への販売支払高では、十勝勢は昨年4位だった士幌町が前年比7.8%増の316億2233万円で3位だった。

1位はきたみらい(オホーツク)、2位は道東あさひ(根室)。十勝は他に、帯広かわにしが6位、めむろが7位、十勝清水町が8位に入っている。

当期剰余金で1位になったJ A中札内村の山本勝博組合長は「これまで10位以内に入っていたが、1位は初。枝豆事業が好調で、組合員にも過去最高の配当をすることができた」としている。

中札内枝豆部会が大賞 国内外に販路拡大 日本農業賞

2016年1月30日

【中札内】第45回日本農業賞(J A全中など主催)が29日午後発表され、営農集団を表彰する集団組織の部で、J A中札内村(山本勝博組合長)の枝豆事業部会(川田一幸部会長、84戸)が最高賞の大賞に輝いた。生産から加工、販売までの体制を整え、世界への販路拡大を積極的に進めてきたことなどが高く評価された。十勝管内から集団組織の部で大賞を受賞するのは、2007年の帯広市川西長いも生産組合以来9年ぶりです。



枝豆の加工品を手に、「海外への挑戦を強めた」と話す山本組合長

同賞は、意欲的に経営や技術の改革と発展に取り組み、地域社会の発展に貢献している農業者を表彰。今年度は全国から集団組織の部に90件、個別経営の部に95件の応募があり、都道府県選考で各1件ずつが中央表彰の選考対象になった。

同部会では、収穫から3時間以内に搬送し、加工、液体窒素により瞬間凍結することで、いつでも「採れたて」「ゆでたて」をそのまま味わうことができる枝豆製品作り

にこだわり続けてきた。海外や学校給食取引拡大のため、11年には道内J Aで初めてH A C C P(ハサップ)自主衛生管理認証を取得し、12年には冷凍冷蔵庫(4000トン)を増設して通年供給体制を確立するなど、積極的に事業を拡大してきた。

主力商品「そのまま枝豆」をはじめ、部会員の女性や

企業と連携して開発した商品は65品目にも上る。14年度の加工品販売高(サヤインゲン含む)は21億2119万円(対農業粗生産額対比17.3%)と初めて20億円を突破し、今年度は約23億円になる見通し。国内の加工品出荷先は、全都道府県の居酒屋チェーンやデパート、コンビニなど多岐にわたり、学校給食も36都道府県にまで販路を拡大した。

また、2007年に米国を皮切りにスタートした海外輸出は、この9年間でドバイなど10カ国にまで増えた。輸出量も今年は約9トンと、07年比で9倍になった。

同部会は10年、安定的な供給体制と多様な販売先などが評価され、最高賞に次ぐ特別賞を受賞。今回は、事業の発展が目覚ましく、5年間で地域に約100人の新規雇用を創出していることなどから、「産地としてのさらなる発展が期待できる」と高く評価された。

新年度は430ヘクタール(前年度比120ヘクタール増)作付けし、4200トンを生産する計画もある。山本組合長は「生産者をはじめ、農協職員一体となって力を注いことが認められた。さらにブランド化が高まれば」と喜んでいる。表彰式は3月12日に東京都内で開かれる。